

平成23年度事故情報収集調査結果について
～事故調査結果からみえる製品事故動向～
(暫定版)

平成24年11月

製品安全センター

製品安全調査課 葛谷 弘之

* 事故情報収集件数等については、暫定であり、今後、数値が変わる可能性があります。

I. はじめに

- N I T E（ナイト）とは
- 製品安全業務の実施体制

NITE(ナイト)とは

NITEは「くらしの安全・安心」を支援しています

NITEは、
製品事故の公的な
原因究明機関です。

製品事故の原因を分析
して、経済産業省と連携
して製品の改善や回収
などの事故防止対策に
貢献することを使命とし
ています。

信頼できる技術と情報の提供

製品事故の
調査・分析、
安全情報の
提供

微生物の
保存提供、
ゲノム解析

様々な分野の技術者が結集。
約120人の技術者が全国10か所で
事故原因を究明。

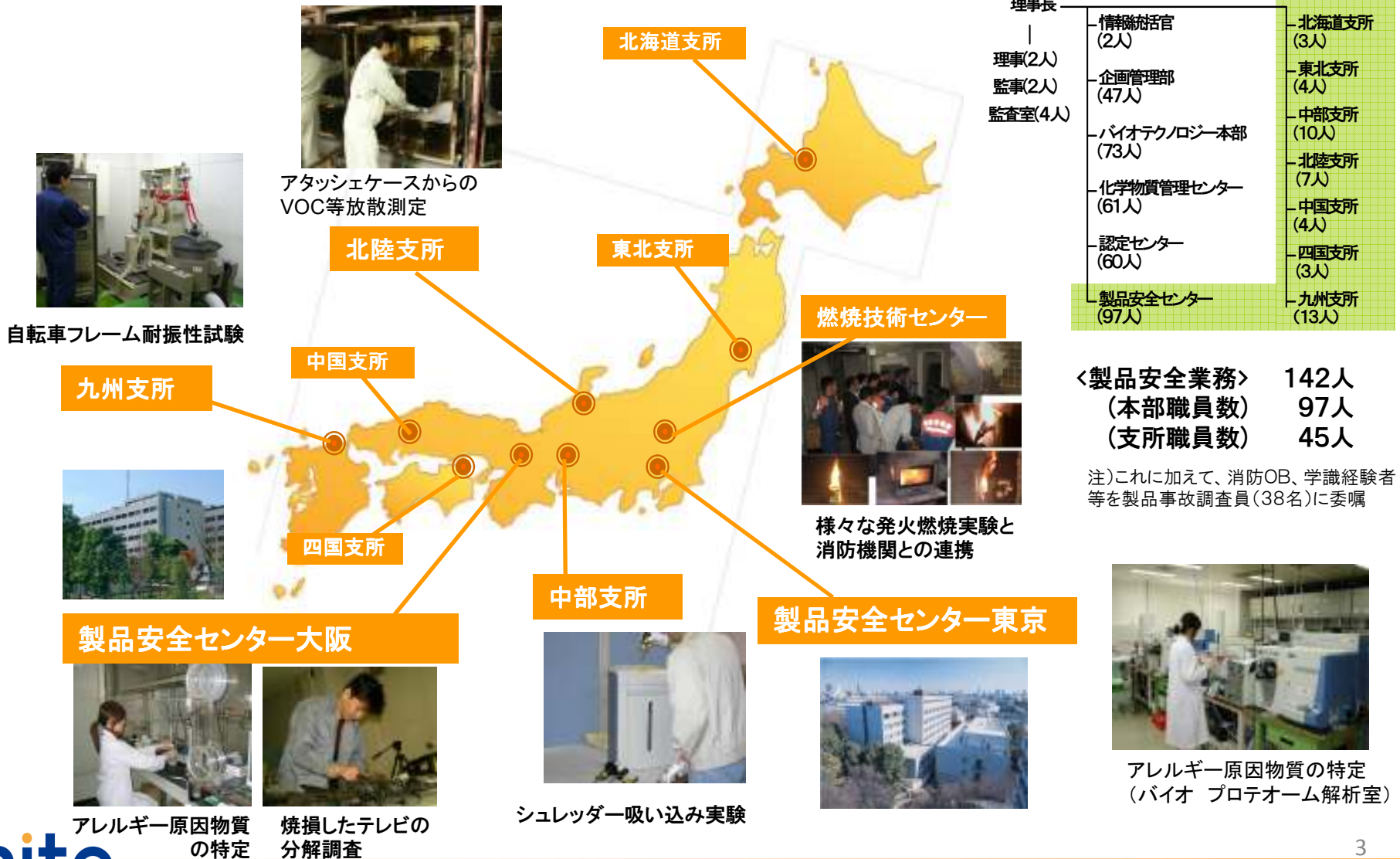
nite

試験・検査
機関の信頼
性評価

化学物質の
安全情報の
提供

製品安全業務の実施体制

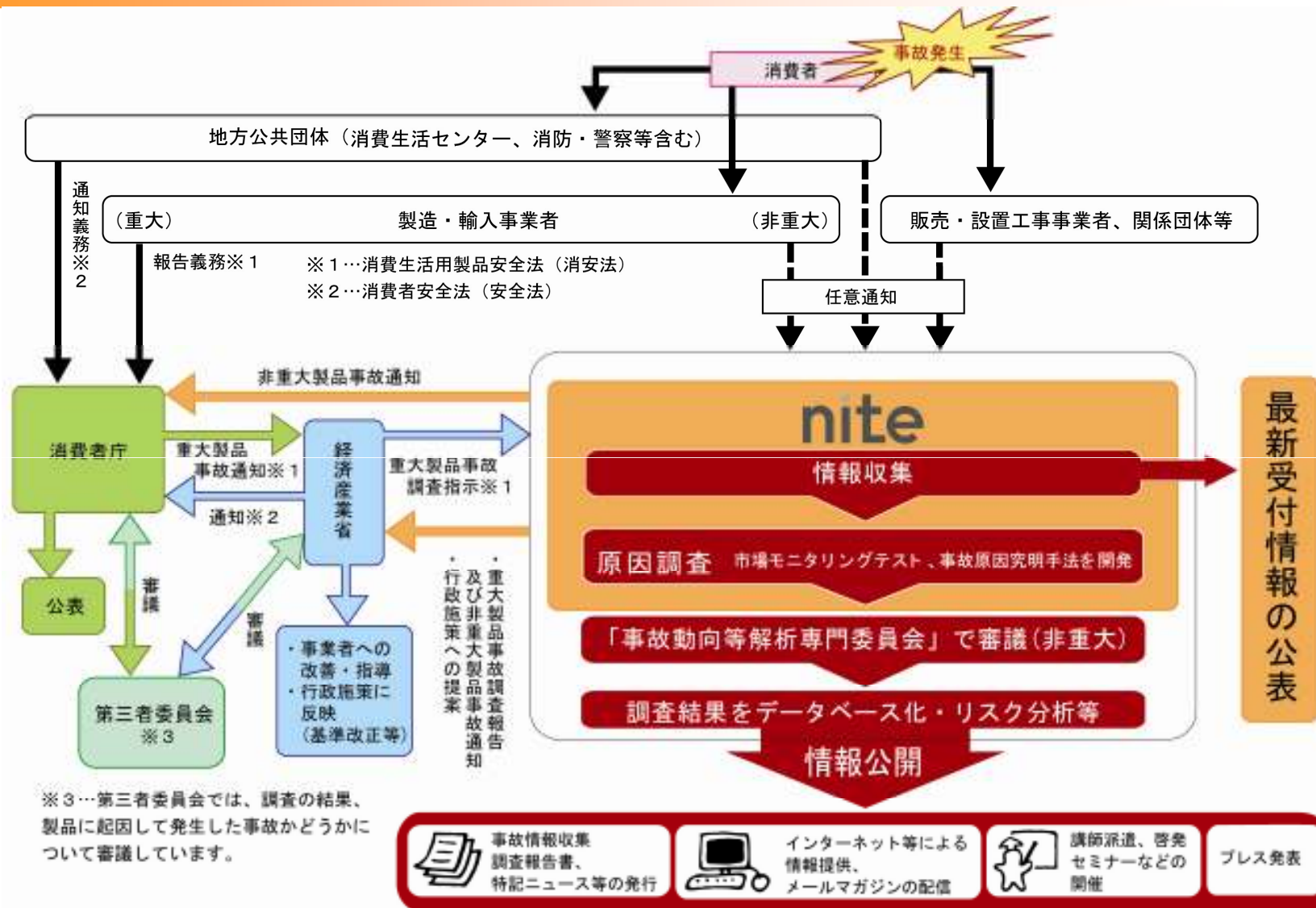
平成24年7月1日現在



Ⅱ. 平成23年度事故情報収集調査結果

- 事故情報収集制度
- 事故情報収集結果
- 事故情報調査結果
- 社告・リコール情報収集件数

事故情報収集制度



消費生活用製品安全法における重大事故とは、死亡事故のほか、治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病、後遺障害事故、一酸化炭素中毒及び火災事故で、非重大事故はそれ以外の事故です。

平成23年度事故情報収集結果1

情報源別収集件数

(件)

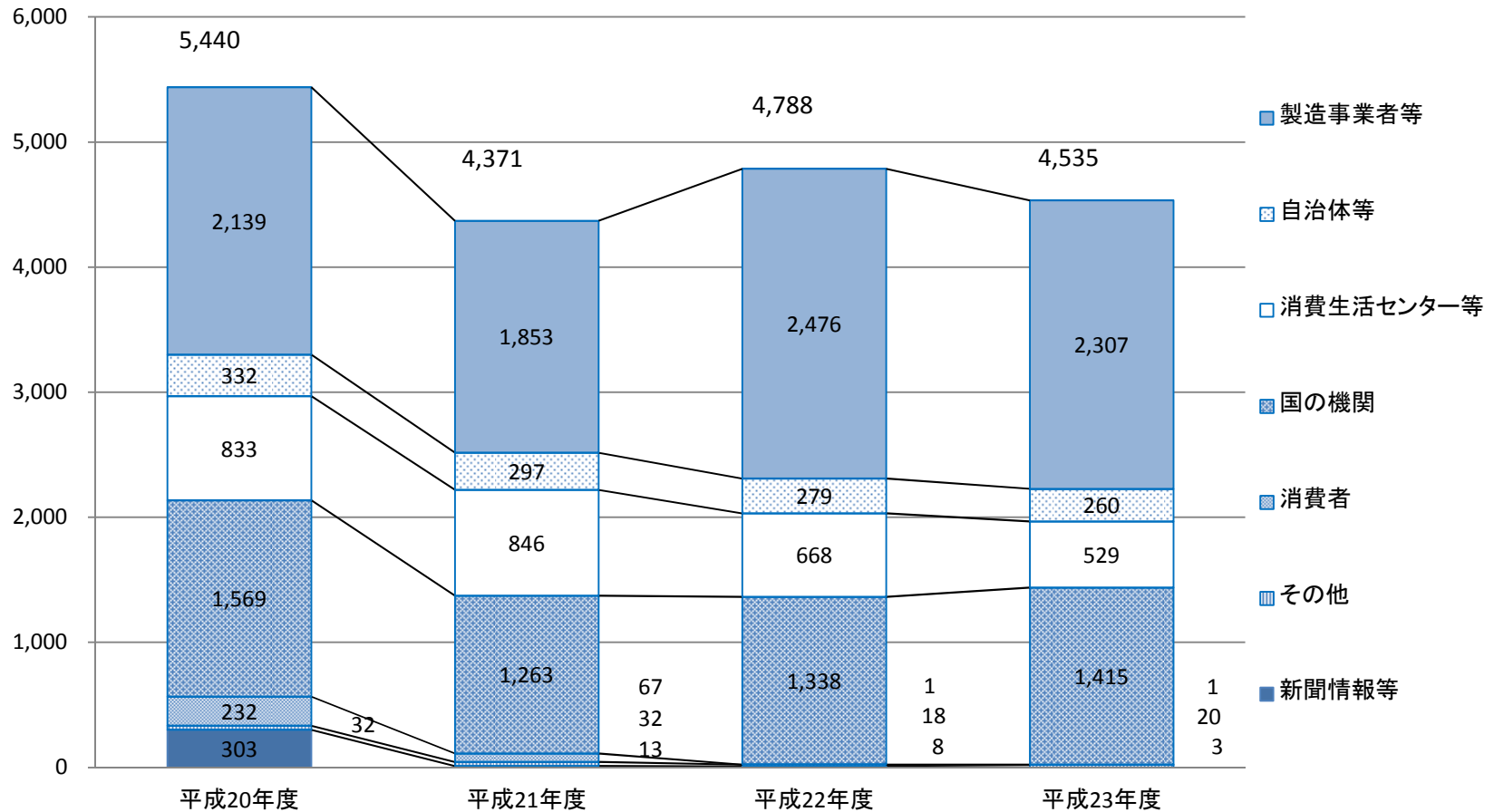
情報源別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
製造事業者等	2,139	1,853	2,476	2,307
自治体等	332	297	279	260
消費生活センター等	833	846	668	529
国の機関	1,569	1,263	1,338	1,415
消費者	232	67	1	1
その他	32	32	18	20
新聞情報等	303	13	8	3
合計	5,440	4,371	4,788	4,535

* 重複情報、重大製品事故を含む。

集計：平成24年8月31日

平成23年度事故情報収集結果2

情報源別収集件数



* 重複情報、重大製品事故を含む。

集計：平成24年8月31日

平成23年度事故情報収集結果3

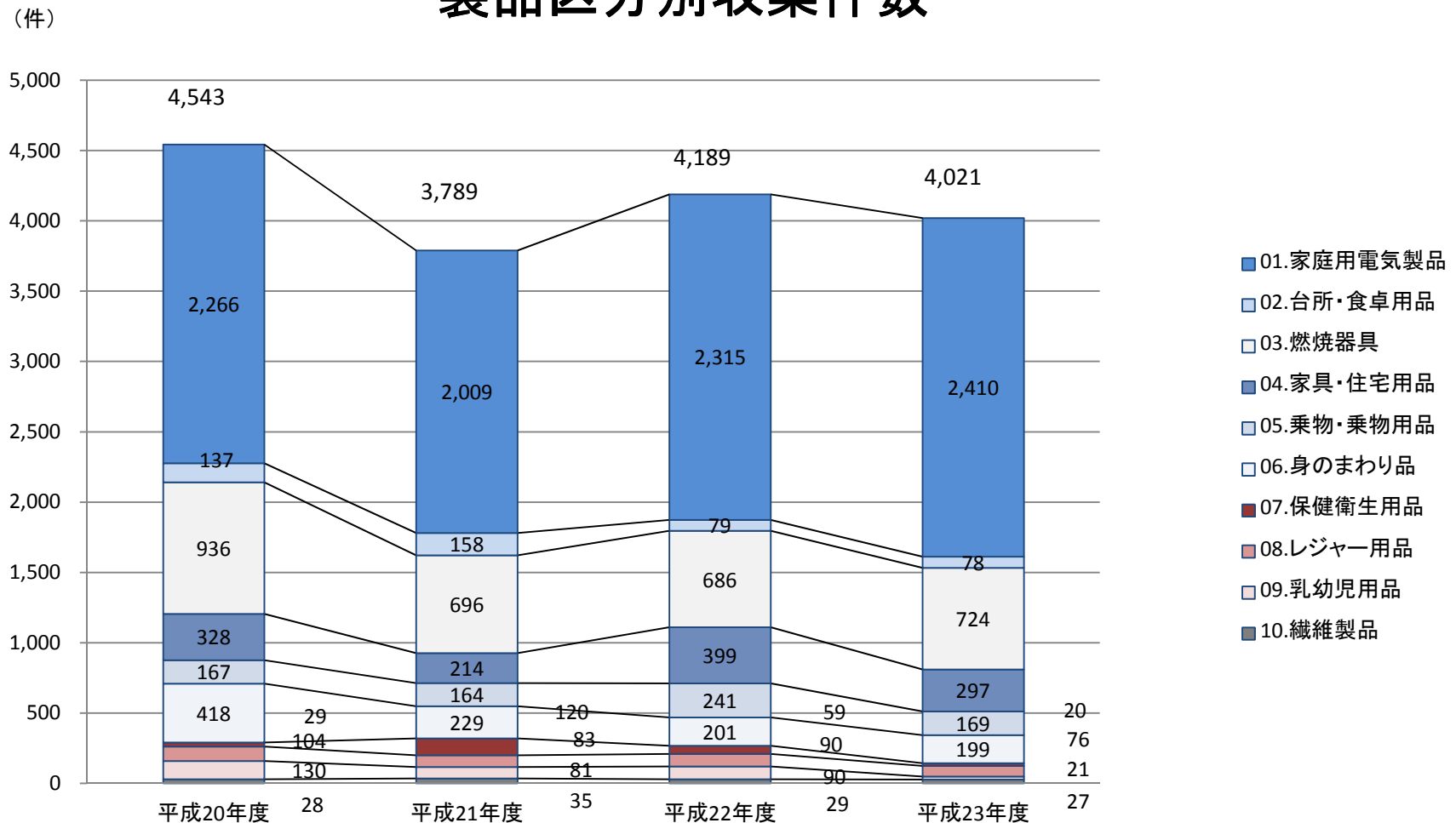
製品区分別収集件数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
01.家庭用電気製品	2,266	2,009	2,315	2,410
02.台所・食卓用品	137	158	79	78
03.燃焼器具	936	696	686	724
04.家具・住宅用品	328	214	399	297
05.乗物・乗物用品	167	164	241	169
06.身のまわり品	418	229	201	199
07.保健衛生用品	29	120	59	20
08.レジャー用品	104	83	90	76
09.乳幼児用品	130	81	90	21
10.繊維製品	28	35	29	27
計	4,543	3,789	4,189	4,021

* 重複情報を除いた件数 集計:平成24年8月31日

平成23年度事故情報収集結果4

製品区分別収集件数



* 重複情報を除いた件数。

集計：平成24年8月31日

平成23年度事故情報収集結果5

年度別に事故収集件数が多かった10品目

平成20年度 (事故情報収集件数 4,543件)		平成21年度 (事故情報収集件数 3,789件)		平成22年度 (事故情報収集件数 4,189件)		平成23年度 (事故情報収集件数 4,021件)	
ガスこんろ	231 (101)	電子レンジ	354 (26)	パソコン周辺機器	484 (0)	直流電源装置	523 (0)
電気ストーブ	220 (57)	ガスこんろ	151 (81)	電気ファンヒーター・ 電気温風機	203 (5)	パソコン周辺機器	470 (0)
直流電源装置	140 (0)	電気ストーブ	146 (31)	ガスふろがま	138 (21)	ガスふろがま	181 (23)
ノートパソコン	139 (2)	テレビ	116 (24)	ガスこんろ	135 (89)	ガスこんろ	113 (69)
石油給湯機	132 (41)	ガスふろがま	106 (27)	パソコン	130 (0)	電気ストーブ	98 (43)
石油ストーブ	107 (62)	まつげカーラー	97 (0)	自転車（電動 アシスト車を除く）	109 (30)	電気オープン トースター	87 (0)
カイロ	99 (1)	配線器具	93 (0)	携帯発電機	105 (0)	石油ストーブ	80 (69)
ガスふろがま	98 (39)	自転車（電動 アシスト車を除く）	90 (37)	電話交換機	104 (1)	自転車（電動 アシスト車を除く）	79 (25)
電子レンジ	86 (30)	石油ストーブ	76 (55)	エアコン	93 (61)	電気フライヤー	78 (0)
デスクマット	84 (0)	電気洗濯機	75 (35)	電気ストーブ	89 (35)	エアコン	75 (64)

* 重複情報を除く。()内は重大製品事故

集計:平成24年8月31日

事故情報調査結果1

事故原因別事故件数

事故原因区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
非重大製品事故	製品に起因する事故	1,457	2,136	1,640
	A 専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの	1,048	1,555	1,128
	B 製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	85	85	48
	C 製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの	85	90	24
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの	239	406	440
	製品に起因しない事故	1117	940	273
	D 業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの	82	76	20
	E 専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	724	603	175
	F その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの	311	261	78
	事故原因が判明しないもの	707	467	293
G 原因不明のもの	707	467	293	
非重大製品事故 計		3,281	3,543	2,206
重大製品事故		500	495	276
計		3,781	4,038	2,482

* 重複情報・調査中を除く。集計：平成24年8月31日

事故情報調査結果2

製品区分別事故原因(平成23年度分)

事故原因区分 製品区分	非重大製品事故											重大製品事故	合計
	製品に起因する事故					製品に起因しない事故				原因不明	非重大		
	A	B	C	G3	小計	D	E	F	小計	G	計		
01.家庭用電気製品	938	11	12	397	1,358	8	28	24	60	146	1,564	166	1,730
02.台所・食卓用品	10	14	0	1	25	0	4	0	4	7	36	2	38
03.燃焼器具	15	0	11	6	32	8	101	27	136	89	257	66	323
04.家具・住宅用品	52	4	0	33	89	1	29	9	39	13	141	13	154
05.乗物・乗物用品	16	9	0	0	25	3	5	8	16	17	58	13	71
06.身のまわり品	74	0	0	3	77	0	2	3	5	15	97	7	104
07.保健衛生用品	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	3
08.レジャー用品	9	1	1	0	11	0	6	2	8	4	23	6	29
09.乳幼児用品	4	9	0	0	13	0	0	1	1	0	14	1	15
10.繊維製品	10	0	0	0	10	0	0	3	3	2	15	0	15
計	1,128	48	24	440	1,640	20	175	78	273	293	2,206	276	2,482

* 重複情報・調査中を除く。集計：平成24年8月31日

重大製品事故 経済産業省及び消費者庁が製品起因による事故及び原因不明であると判断したもの

製品に起因する事故

- A 専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
- B 製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
- C 製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
- G3 製品起因であるが、その原因が不明なもの

製品に起因しない事故

- D 業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
- E 専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
- F その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの

事故情報調査結果3

「製品に起因する事故及び重大製品事故」の多い5品目

平成21年度(1,957件)			平成22年度(2,631件)			平成23年度(1,916件)		
非重大製品事故(1,457件)			非重大製品事故(2,136件)			非重大製品事故(1,640件)		
品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%
まつげカーラー(ビューラー)	97	6.7%	パソコン周辺機器	451	21.1%	ACアダプター	502	30.6%
電子レンジ	91	6.2%	電気ファンヒーター・電気温風機	197	9.2%	パソコン周辺機器	378	23.0%
テレビ(ブラウン管型)	86	5.9%	パソコン	125	5.9%	電気オーブントースター	87	5.3%
電気ストーブ	80	5.5%	携帯発電機	105	4.9%	電気フライヤー	78	4.8%
パソコン周辺機器	58	4.0%	電話交換機	103	4.8%	電話交換機	56	3.4%
合計	412	28.3%	合計	981	45.9%	合計	1,101	67.1%
重大製品事故(500件)			重大製品事故(495件)			重大製品事故(276件)		
品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%
エアコン	25	5.0%	エアコン	41	8.3%	エアコン	18	6.5%
石油ふろがま	25	5.0%	電子レンジ	28	5.7%	石油給湯機	17	6.2%
石油給湯機	24	4.8%	石油給湯機	26	5.3%	石油ふろがま	16	5.8%
電気洗濯機	24	4.8%	電気ストーブ	23	4.6%	扇風機	13	4.7%
石油ストーブ	23	4.6%	石油ふろがま	20	4.0%	電気洗濯機	13	4.7%
合計	121	24.2%	合計	138	27.9%	合計	77	27.9%

集計：平成24年8月31日

事故情報調査結果4

「誤使用や不注意による事故」の多い5品目

平成21年度(724件)			平成22年度(603件)			平成23年度(175件)		
品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%
ガスこんろ	172	23.8%	ガスこんろ	93	15.4%	ガスふろがま	32	18.3%
ガスふろがま	74	10.2%	ガスふろがま	54	9.0%	ガスこんろ	25	14.3%
石油ストーブ	36	5.0%	はしご・脚立	24	4.0%	ガス栓	13	7.4%
電気ストーブ	36	5.0%	石油ストーブ	19	3.1%	はしご・脚立	11	6.3%
電子レンジ	27	3.7%	石油ふろがま	18	3.0%	踏み台	11	6.3%
合計	345	47.7%	合計	208	34.5%	合計	92	52.6%

集計：平成24年8月31日

事故情報調査結果5

事故原因別被害状況(平成23年度分)

被害状況		人的被害				物的被害			被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	小計	拡大被害	製品破壊	小計		
事故区分	A	0	1	55	56	28	986	1,014	58	1,128
	B	0	0	25	25	6	16	22	1	48
	C	0	1	1	2	2	20	22	0	24
	G3	0	0	4	4	35	399	434	2	440
	製品に起因する事故	0	2	85	87	71	1,421	1,492	61	1,640
	D	0	0	5	5	8	7	15	0	20
	E	5	5	54	64	47	58	105	6	175
	F	6	13	17	36	20	18	38	4	78
	製品に起因しない事故	11	18	76	105	75	83	158	10	273
	原因不明	G	1	1	50	52	27	199	226	15
非重大製品事故		12	21	211	244	173	1,703	1,876	86	2,206
重大製品事故		8	37	11	56	148	70	218	2	276
合計		20	58	222	300	321	1,773	2,094	88	2,482

* 重複情報・調査中を除く。集計：平成24年8月31日

社告・リコール情報収集件数1

年度別 社告・リコール情報件数

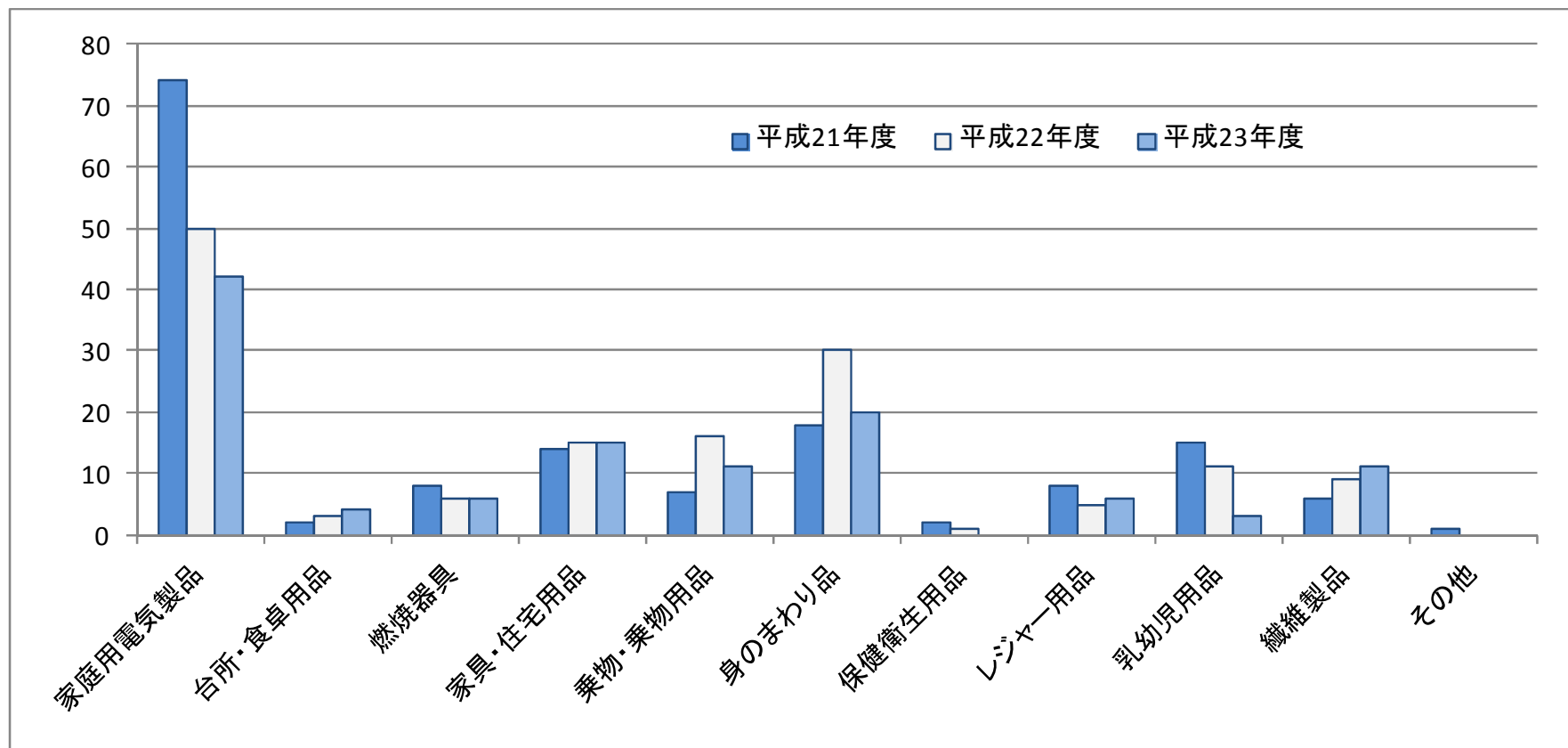
年度 製品区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
家庭用電気製品	74	47.7%	50	34.2%	42	35.6%
台所・食卓用品	2	1.3%	3	2.1%	4	3.4%
燃焼器具	8	5.2%	6	4.1%	6	5.1%
家具・住宅用品	14	9.0%	15	10.3%	15	12.7%
乗物・乗物用品	7	4.5%	16	11.0%	11	9.3%
身のまわり品	18	11.6%	30	20.5%	20	17.0%
保健衛生用品	2	1.3%	1	0.7%	0	0.0%
レジャー用品	8	5.2%	5	3.4%	6	5.1%
乳幼児用品	15	9.7%	11	7.5%	3	2.5%
繊維製品	6	3.9%	9	6.2%	11	9.3%
その他	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
合計	155	100.0%	146	100.0%	118	100.0%

集計：平成24年8月31日

詳細については、社告・リコールの検索：<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

社告・リコール情報収集件数2

年度別 社告・リコール情報件数



集計：平成24年8月31日

詳細については、社告・リコールの検索：<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

Ⅲ. 平成23年度事故事例及び注意喚起について

- 行政施策反映事例
- 注意喚起について

最近の行政施策反映事例 1

消費生活用品安全法		
製品名	事件事例	行政施策反映事例
ライター(使い捨てライター、多目的ライター)	2階建て集合住宅の1階部分から出火した。	政省令の改正:消費生活用製品安全法に基づく特定製品及び特別特定製品として追加。技術基準等に、不注意による火炎の生成の可能性等を最小限にする構造(チャイルドレジスタンス機能等)、火炎の高さが制限された構造等を要求。 公布:平成22年11月10日 施行:平成22年12月27日
携帯用レーザー応用装置	レーザーポインターで遊んでいたところ、レーザー光が目に当たり、病院で治療を受けた。	技術基準の改正:レーザーディスプレイとして使用される製品や対象、位置等を指し示す製品規制対象の見直し、玩具については放出状態維持機能を有さないこと、その他の製品についてはレーザー光の自動遮断機能、放出量調整機能等を要求。また、注意事項の表示等を規定。 公布:平成22年12月1日 施行:平成22年12月27日
ガス事業法 液石法(※)		
製品名	事件事例	行政施策反映事例
ガス給湯暖房機	2ガス給湯暖房機の点火ツマミが回らなくなったので確認したところ、機器のガスガバナ付近が焼損していた。	省令の改正:ガス給湯暖房機を現行指定品目である瞬間湯沸かし器に含める。長期使用製品安全点検制度の対象製品にも追加。 公布:平成22年11月1日 施行:平成23年7月1日

※液石法:液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律

最近の行政施策反映事例 2

電気用品安全法		
製品名	事件事例	行政施策反映事例
家庭用テーブルタップコードセット	コードが繰り返し下敷きとなったことにより、コード内の芯線が半断線状態となり発熱、発火。	政省令改正：一般家庭で使用される並行刃の差込口に対応したタイプであって、定格電流が15A・20Aのものを対象として延長コードセットとして品目指定した。技術基準は既存の配線器具共通の技術基準に加え、耐トラッキング性能等を追加。
電気掃除機	電気掃除機の電源が入らなくなり、差込プラグを抜いた際に軽い火傷を負った。	政省令改正：規制対象となる電気掃除機の定格消費電力の上限値を1000Wから1500Wまで範囲拡大した。
リチウムイオン蓄電池	海外製携帯音楽プレイヤーの充電中に異常発熱による変形・やけど・発火。	政省令改正：規制中のリチウムイオン蓄電池に加え、はんだ付けその他の接合方法により、容易に取り外すことができない状態で機械器具に固定して用いられるものその他の特殊な構造のものも規制対象とした。

注意喚起について 1

・プレスリリース(記者説明会)

<http://www.nite.go.jp/jiko/press/index.html>

<平成23年度>

- | | |
|-------------|---|
| 平成24年3月22日 | はしごや脚立等による事故の防止について(注意喚起) |
| 平成24年2月23日 | 電気こたつ、ゆたんぽ等の冬場の事故防止について(注意喚起)
除雪機の事故の防止について(再注意喚起) |
| 平成24年1月26日 | ガスこんろ等の事故の防止について(注意喚起)
暖房器具による事故の防止について(再注意喚起) |
| 平成23年12月8日 | 自転車等の事故の防止について(注意喚起) |
| 平成23年11月10日 | 除雪機の事故の防止について(注意喚起) |
| 平成23年10月20日 | 暖房器具による事故の防止について(注意喚起) |
| 平成23年9月22日 | 子どもによるライター等の事故の防止について(注意喚起) |
| 平成23年8月25日 | IHこんろによる事故の防止について(注意喚起) |
| 平成23年7月21日 | カセットこんろによる事故の防止について(注意喚起) |
| 平成23年6月23日 | エアコンによる事故の防止について(注意喚起) |
| 平成23年5月26日 | 扇風機による火災事故の防止について(注意喚起) |
| 平成23年4月28日 | 災害復旧時の製品事故の防止について(注意喚起) 【資料投込】 |

注意喚起について 2 (IHこんろ)

IHこんろによる事故の防止について(注意喚起)

NITE製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、IHこんろによる事故は、平成17年度から22年度の6年間に118件(※)ありました。

(※)平成23年7月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数。

被害状況は、重傷事故が2件、軽傷事故が27件であり、1室以上の火災は7件でした。

IHこんろの事故件数は、年々増加する傾向にあります。IHこんろは、火を使わずに調理できる上に、過熱防止装置などの安全装置が付いている調理機器ですが、火災事故が起きていること、IHこんろの使い方が影響した事故が発生していること、普及に伴って年々事故が増加している現状を受け、IHこんろの事故を防ぐため注意喚起をすることとしました。



事故の再現実験映像
(NITE・製品安全センター)

平成23年8月25日「IHこんろによる火災事故の防止について(注意喚起)」<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs110825.html>

注意喚起について 3 (IHこんろ)

IHこんろの事故事例の概要

なべ底が平面でない、油量が少ない、通常加熱設定で揚げ物調理をした等の複合要因により油が過熱し、その場を離れたため発煙・発火した事例。

平成21年9月20日(埼玉県、性別・年代不明、軽傷)

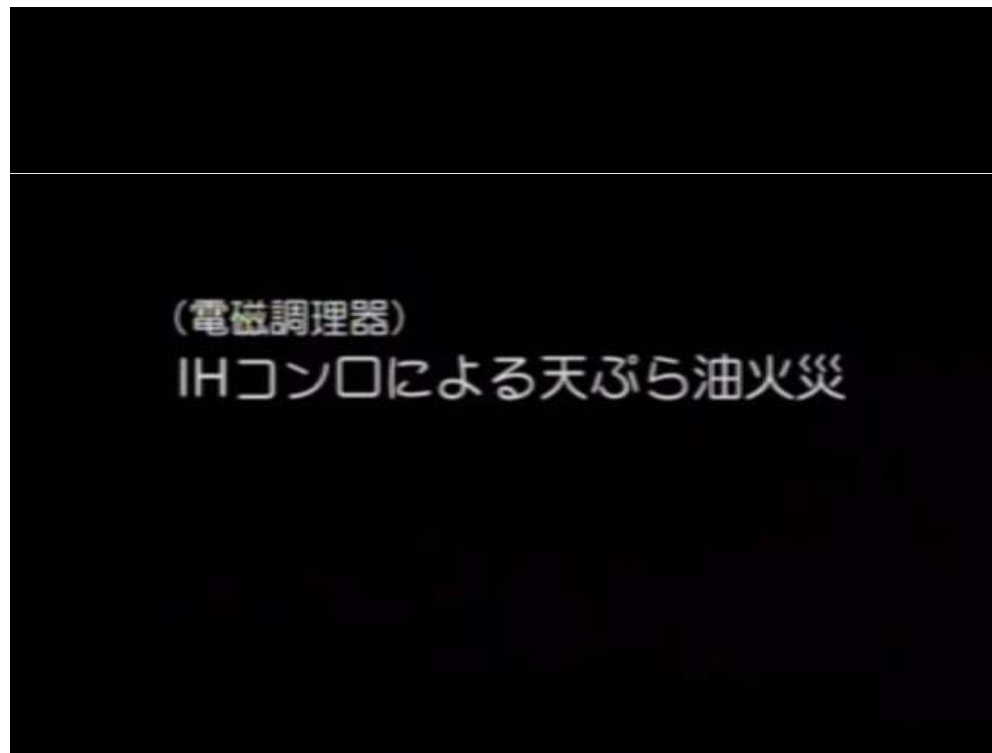
(事故内容)

IHクッキングヒーターで天ぷらを調理中、天ぷら油から炎が上がり、消火の際に右手に軽い火傷を負った。

(事故原因)

被害者が、なべ底が反った天ぷら鍋を使用し、少量の油で調理したため、天ぷら油が過熱され、発火したものと推定される。

なお、取扱説明書に「揚げ物調理中はそばを離れない」、「鍋底が変形したのものは使わない」、「油は指定範囲で使用する」旨、記載している。



IHこんろの事故の再現実験映像(NITE・製品安全センター)

23

注意喚起について 4 (IHこんろ)

IHこんろの事故の防止(その1)

IHこんろについて事故を防止するため取扱説明書をよく読んで使ってください。
特に以下の点に注意してご使用ください。

- ①揚げ物調理をするときは、揚げ物設定を使用してください。
- ②揚げ物調理をするときは、揚げ物設定にし、付属のなべを使ってください。付属のなべがないときは、取扱説明書に記載された鍋又はIHこんろのメーカーへお問い合わせください。なべ底に反り、たわみ、凹みがあると温度センサーが正確に働きません。
- ③揚げ物調理時の油量は、取扱説明書に従ってください。油量が少ないと温度が急激に上昇するため、温度センサーが正確な温度を測ることができません。
- ④揚げ物調理中は、その場を離れないでください。もし、その場を離れるときは必ずスイッチを切ってください。

注意喚起について 5 (IHこんろ)

IHこんろの事故の防止(その2)

- ⑤IHこんろで使用する調理器具(フライパン、なべ、やかんなど)は、IHこんろの電圧など使用するIHこんろに対応したものを使用してください。
- ⑥IHこんろの上には使用する調理器具(フライパン、なべ、やかんなど)以外の物を置かないでください。誤ってスイッチが入った場合に加熱されるおそれがあります。
- ⑦飲み物(コーヒー、茶、酒、水など)、みそ汁、とろみのある食品(カレー、シチューなど)を加熱するときは火力を弱めにして、よくかき混ぜて加熱してください。急に加熱すると過加熱状態の部分ができ、突沸して火傷をすおそれがあります。
- ⑧IHこんろの吸・排気口や操作部に水をかけたり、煮物の噴きこぼれた液体が入らないようにしてください。漏電や火災のおそれがあります。
- ⑨なべの下に汚れ防止シートを敷くときは、IHこんろ及び汚れ防止シートの取扱説明書に従って対応してください。なべ底の正確な温度測定に影響する場合があります。

注意喚起について 6(電気こたつ)

電気こたつ等の冬場の事故防止について(注意喚起)

NITE製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、電気こたつによるものは、平成18年4月から24年1月までの間に170件(※)ありました。

(※)平成24年1月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数

このうち、死亡事故が13件、重傷事故が4件、1室以上の火災が40件、うち全焼は31件でした。

これらの事故は、誤った使用をしないことで防げるものが多くあるため、製品を正しく使用していただき、事故を防止するため注意喚起をすることとしました。



事故の再現実験映像
(NITE・製品安全センター)

平成24年2月23日「電気こたつ、ゆたんぽ等の冬場の事故防止について(注意喚起)」<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs12022301.html>

注意喚起について 7(電気こたつ)

電気こたつの事故事例の概要

ヒーターユニットに掛けふとんが接触し焼損した事例。

平成22年2月4日(神奈川県、年代不明・男性、拡大被害)

(事故内容)

電気こたつから発煙し、こたつふとんが焦げた。

(事故原因)

こたつのやぐらの中にふとんを押し込んで使用したため、ふとんがヒーターの保護カバーに接触して、ふとんが焦げて発煙したものと推定される。

なお、本体表示及び取扱説明書に「ふとんをやぐらの中に押し込んで使用しない」旨、記載されている。



電気こたつの事故の再現実験映像(NITE・製品安全センター)

注意喚起について 8(電気こたつ)

電気こたつを使用する際の注意について

死亡・重傷の重篤な事故は、誤使用・不注意などの「製品に起因しない事故」で多く発生しており、製品の正しい使い方をすることで、事故の再発防止が図れると考えられます。

電気こたつを利用する場合には取扱説明書をよく読んで、次の事項に特にご注意ください。

- ① こたつの中で衣類を乾かささないでください。
- ② 座いすや座ぶとん、上掛けなどが、こたつのヒーターユニットカバーに近接しないよう気をつけてください。
- ③ こたつの電源コードが、こたつの下敷きになった状態で使用しないでください。
- ④ こたつの電源コードを折り曲げたり、ねじったりしないでください。
- ⑤ こたつ(ヒーターユニット等)を改造したり、自分で修理しないでください。
- ⑥ 外出などで留守にする場合は、こたつのスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

IV. N I T E ホームページによる公表

- 製品安全センターのホームページ
- 注意喚起リーフレット
- 注意喚起ちらし
- ミニポスター（一部動画付き）
- 身・守りハンドブック 2012
- 教育DVDハンドブック
- 生活安全ジャーナル
- 製品安全情報マガジン〈PSマガジン〉
- プレスリリース
- 最新事故情報

製品安全センターのホームページ 1

・製品安全センターのホームページ

<http://www.jiko.nite.go.jp/>

製品安全・事故情報

- ◆◆◆◆◆
- [注意喚起リーフレット](#) >>>
- [注意喚起ちらし](#) >>>
- [注意喚起リンク集](#) >>>
- [ミニポスター\(一部動画付\)](#) >>>
- [身・守りハンドブック](#) >>>
- [教育DVDハンドブック](#) >>>
- [生活安全ジャーナル](#) >>>
- [製品安全情報マガジン\(PSマガジン\)](#) >>>
- ◆◆◆◆◆
- [What's New](#) >>>
- [プレスリリース](#) >>>
- [特記ニュース](#) >>>
- [最新事故情報](#) >>>
- [事故情報の検索](#) >>>



The screenshot shows the NITE website homepage with the following visible sections:

- 製品安全分野**: ~暮らしの安心を支援する、安全・快適さに関する情報の発信~
- 製品安全・事故情報**: 消費者生活用製品の家庭用電気製品、育児用具、乗物、レジャー用品、乳幼児用品等の欠陥等により人的被害が生じた事故、人的被害が発生する可能性の高い物的事故、及び製品の欠陥により生じた可能性のある事故に関する情報を提供しています。
- 注意喚起リーフレット**: 季節別に発生する事故事例と事故防止のポイントをわかりやすく説明したリーフレットです。
- 注意喚起ちらし**: 事故防止のポイントやリコール社会を中心に更にわかりやすく説明したちらしです。
- ミニポスター(一部動画付き)**: NITEで収集した事故情報を基に作成したミニポスター(及び再現実験映像[swf])です。「注意喚起リーフレット」等と一緒にご利用ください。
- 身・守りハンドブック(新使用禁止ハンドブック)**: 新使用事故を防止する目的で、消費者用、事業者用の2つのハンドブックを作成しました。
- 生活 nite 安全**: 製品安全の信頼について総合的に提供するNITE製品安全信頼証です。
- 製品安全情報マガジン**: 製品安全に関する情報をタイムリーに提供しています。
- 標準化の推進**: 製品事故の未然・再発防止の観点で、消費者用製品の安全に関わる標準化業務を実施しています。
 - 高齢者、乳幼児事故未然防止・再発防止のための標準化
 - 技術基準体系等の見直し(電気用品安全法)
 - 国際標準化
 - 製品安全に関するデータ提供
- 電気工事士講習/ガス工事監督者講習**: 約50万人の第1種電気工事士と約4万人のガス消費者施設工事監督者に対し、工事の欠陥による災害の発生を防止できるよう、技術上の情報等を提供するための法定講習を実施しています。



製品安全センターのホームページ 2

・注意喚起リーフレット

<http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/leaflet.html>

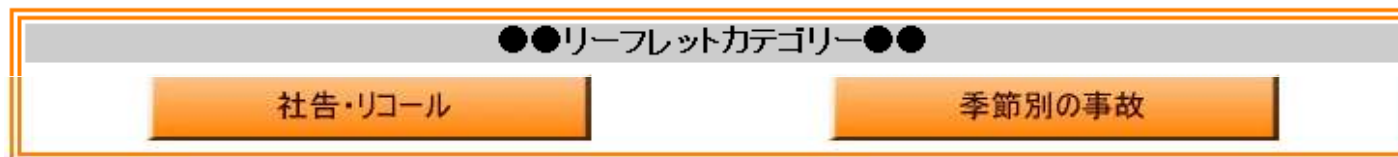
事故が多発する製品のリコール情報をまとめたリーフレットと、家庭内や季節別に発生した事故事例とその事故防止のポイントをわかりやすくまとめたリーフレットを作成いたしました。



注意喚起リーフレット

製品評価技術基盤機構(NITE)で収集した事故情報の中から、リコール情報をまとめたリーフレットと、家庭内や季節別に発生した事故事例とその事故防止のポイントをわかりやすくまとめたリーフレットを作成いたしました。

無償ダウンロードできますので、ご利用ください。(※白黒印刷にも対応しています。)



冬の事故 (2011年度・冬)



製品安全センターのホームページ 3

・注意喚起ちらし

<http://www.nite.go.jp/jiko/chirashi/chirashi.html>

収集した事故情報から、実際に起こった事故事例と注意喚起をわかりやすく説明したちらし「こんな事故にもご用心」と、最近公表されたリコール情報を抜粋したちらし「リコールなど注意を呼びかけています」を掲載しています。

製品安全・事故情報

- ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起ちらし >>**
- 注意喚起リンク集 >>
- ミニポスター(一部動画付) >>
- 身・守りハンドブック >>
- 教育DVDハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>
- ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
- What's New >>
- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>

注意喚起ちらし

製品評価技術基盤機構(NITE)で収集した事故情報から、実際に起こった事故事例と注意喚起をわかりやすく説明したちらし「**こんな事故にもご用心**」と、最近公表されたリコール情報を抜粋したちらし「**リコールなど注意を呼びかけています**」を掲載しています。
どちらのちらしも**無償でダウンロード**できますので、ご利用ください。(白黒印刷可)

過去のちらし: [平成23年度](#)・[平成22年度](#)・[平成21年度](#)

平成24年度発行分:

- ・定期発行: No.32、No.33、No.34、No.35、No.36、No.37、No.38
- ・特集号: No.01

最新号: No.38: リコールなど注意を呼びかけています(2012.10.9)

下の画像にマウスを合わせると、拡大してご覧いただけます。

印刷用PDF(508KB)ダウンロードはコチラをクリック



掲載内容

- ・ビルトイン式電気食器洗機
- ・自転車フロントフォーク
- ・全自動洗濯機Haier(ハイアール)
- ・USBアダプター
- ・炭酸美顔器
- ・折りたたみチェア

製品安全センターのホームページ 4

・ミニポスター(一部動画付き) <http://www.nite.go.jp/jiko/poster/poster.html>
 収集した事故情報を基に作成しています。事例と事故防止のポイントをわかりやすく説明しています。

製品安全・事故情報

- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起ちらし >>
- 注意喚起リンク集 >>
- ミニポスター(一部動画付) >>**
- 身・守りハンドブック >>
- 教育DVDハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>
- What's New >>
- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>

ミニポスター(一部動画付)

このページで公開されているミニポスター(及び再現実験映像)は、製品評価技術基盤機構(NITE)で収集した事故情報を基に作成しています。

ミニポスター及び再現実験映像は無償でダウンロードできますので、「注意喚起リーフレット」等と併せてのご利用をおすすめします。なお、当リーフレットは製品の取り扱いに対する保証をするものではありませんので、製品を正しく安全にご使用していただくためには、取扱説明書を必ずお読みください。

家庭用電気製品ポスターリスト

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| ▶ 1-1 扇風機1 | ▶ 1-2 テレビ | ▶ 1-3 温水洗浄便座 | ▶ 1-4 ヘヤドライヤー |
| ▶ 1-5 電源プラグ | ▶ 1-6 水槽用ヒーター | ▶ 1-7 テーブルタップ | ▶ 1-8 電気こもろ |
| ▶ 1-10 突沸 | ▶ 1-11 電源コード1 | ▶ 1-12 電源コード2 | ▶ 1-13 洗濯物 |
| ▶ 1-15 洗濯機 | ▶ 1-16 扇風機2 | ▶ 1-17 シュレッダー | ▶ 1-18 電気ストーブ |
| ▶ 1-19 こたつ | ▶ 1-20 電源コード3 | ▶ 1-21 扇風機3 | ▶ 1-22 エアコン1 |
| ▶ 1-23 IHこもろ2 | ▶ 1-24 電子レンジ | ▶ 1-25 乾燥機 | ▶ 1-26 照明器具 |
| ▶ 1-27 電池 | | | |

1-1 扇風機1
扇風機からの出火
 事故の概要: 扇風機の電源コードがコンセントから抜けて、床に落ちた。電源コードの絶縁層が破れて、電気が漏れ、床のカーペットが燃えた。
 事故の理由: 電源コードの絶縁層が破れて、電気が漏れ、床のカーペットが燃えた。
 事故防止のために: 電源コードを破損させない、電源コードを破損させたら交換する、電源コードを破損させたら交換する、電源コードを破損させたら交換する。

1-2 テレビ(ブラウン管型)
テレビ(ブラウン管型)からの出火
 事故の概要: ブラウン管型テレビの電源コードがコンセントから抜けて、床に落ちた。電源コードの絶縁層が破れて、電気が漏れ、床のカーペットが燃えた。
 事故の理由: ブラウン管型テレビの電源コードがコンセントから抜けて、床に落ちた。電源コードの絶縁層が破れて、電気が漏れ、床のカーペットが燃えた。
 事故防止のために: 電源コードを破損させない、電源コードを破損させたら交換する、電源コードを破損させたら交換する、電源コードを破損させたら交換する。

1-3 温水洗浄便座
温水洗浄便座の発火事故
 事故の概要: 温水洗浄便座の電源コードがコンセントから抜けて、床に落ちた。電源コードの絶縁層が破れて、電気が漏れ、床のカーペットが燃えた。
 事故の理由: 温水洗浄便座の電源コードがコンセントから抜けて、床に落ちた。電源コードの絶縁層が破れて、電気が漏れ、床のカーペットが燃えた。
 事故防止のために: 電源コードを破損させない、電源コードを破損させたら交換する、電源コードを破損させたら交換する、電源コードを破損させたら交換する。

1-4 ヘヤドライヤー
ヘヤドライヤーからの出火
 事故の概要: ヘヤドライヤーの電源コードがコンセントから抜けて、床に落ちた。電源コードの絶縁層が破れて、電気が漏れ、床のカーペットが燃えた。
 事故の理由: ヘヤドライヤーの電源コードがコンセントから抜けて、床に落ちた。電源コードの絶縁層が破れて、電気が漏れ、床のカーペットが燃えた。
 事故防止のために: 電源コードを破損させない、電源コードを破損させたら交換する、電源コードを破損させたら交換する、電源コードを破損させたら交換する。

製品安全センターのホームページ 5

・身・守りハンドブック 2012

http://www.nite.go.jp/jiko/handbook/goshiyou_handbook.html

製品を正しく取り扱えば防ぐことができたと思われる事故が多数あります。誤った使用方法や不注意による製品事事故事例を紹介し、製品と安全につきあうための心構えをまとめた「製品事故から身を守るために<身・守りハンドブック2012>」を改訂しました。



(内容例)
「ゆたんぼ」就寝中に低温やけど

製品安全センターのホームページ 6

・教育DVDハンドブック

<http://www.nite.go.jp/jiko/dvdhandbook/index.html>

製品安全・事故情報

- ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起ちらし >>
- 注意喚起リンク集 >>
- ミニポスター(一部動画付) >>
- 身・守りハンドブック >>
- 教育DVDハンドブック >>**
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>
- ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
- What's New >>
- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>

製品安全教育DVDハンドブック (小学校高学年向け)

●小学校教職員の皆様へ●

製品評価技術基盤機構(ナイト:NITE)で小学校高学年向けの製品安全教育の教材(DVD映像と解説書)を作成しました。NITEが収集した事故情報の中から家庭で起きた身近な製品事故を取り上げ、事故の内容と原因の解説、注意ポイントなど紹介し、児童と製品事故について話し合うためのヒントや実際に製品事故が発生した際の注意点を記述しました。

テーマ毎に数分程度のDVD映像を5テーマ収録し、各テーマごとに製品事故に至る過程、事故再現実験、注意事項という流れで構成しています。授業で使いやすいように1テーマごとに完結していますので、テーマを選んで使うこともできます。

・DVDをご希望の場合は、下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。

学校内で実際に起こった事故の再発防止のために「注意喚起ちらし」を作成いたしましたので、DVDと併せてご利用ください。☎ 注意喚起ちらし:「学校での製品事故を防ぐために」

The screenshot shows a digital interface for the DVD handbook. On the left, there are four small images: a kitchen scene with a pot on a stove, a person using a power drill, a person using a power sander, and a person using a power saw. In the center, there is a text box that reads: 「くらしの中の身近な製品事故 小学校高学年向け」. On the right, there is a vertical menu with five buttons, each with a play icon and a title: 「ごんろの事故」 (Stove accident), 「石油ストーブの事故」 (Oil stove accident), 「電子レンジの事故」 (Microwave oven accident), 「配線の事故」 (Wiring accident), and 「電池の事故」 (Battery accident).

「くらしの中の身近な製品事故 小学校高学年向け」は、(財)消費者教育支援センターの「第5回消費者教育教材資料表彰(行政)」で優秀賞を受賞しました。

製品安全センターのホームページ 7

・生活安全ジャーナル

<http://www.nite.go.jp/jiko/journal/index.html>

製品安全・事故情報

- ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
- [注意喚起リーフレット >>](#)
- [注意喚起ちらし >>](#)
- [注意喚起リンク集 >>](#)
- [ミニポスター\(一部動画付\) >>](#)
- [身・守りハンドブック >>](#)
- [教育DVDハンドブック >>](#)
- [生活安全ジャーナル >>](#)**
- [製品安全情報マガジン\(PSマガジン\) >>](#)
- ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
- [What's New >>](#)
- [プレスリリース >>](#)
- [特記ニュース >>](#)
- [最新事故情報 >>](#)
- [事故情報の検索 >>](#)

生活安全ジャーナル


「生活安全ジャーナル」は、国民のくらしの安全・安心のため、広く製品安全情報を提供する総合誌です。事業者においてはより安全な製品の提供、研究機関においては製品安全に係る研究、PLセンター等においては紛争処理等にご活用いただければと思います。

皆様のご愛読をお願いいたします。

※第7号より、冊子による発行をとりやめ、NITEホームページ上のみの掲載とさせていただきます。

最新号



 (PDF形式4.16MB)※

第13号(平成24年 6月)

特集 化学製品関連の事故

- 特集に向けて
- NITEデータベースにみる～化学製品関連の事故
- シックハウス訴訟の現状と動向 弁護士 関根 幹雄
- 生活用品からの放散化学物質測定方法と測定事例 兵庫県立健康生活科学研究所生活科学総合センター
主査 青木 幸生
- 皮膚障害に係る原因物質について 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 技術業務課 佐々木 和美
- 化学物質管理に関する事業者向けの情報提供について 製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター

NITE安全の視点

- 事故動向等について(平成23年4月～平成23年12月)
- 社告・リコール情報(平成23年8月～平成24年1月)

PL研究

製品安全センターのホームページ 8

製品安全情報マガジン(PSマガジン)

<http://www.nite.go.jp/jiko/psm/index.html>

製品安全・事故情報

- ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起ちらし >>
- 注意喚起リンク集 >>
- ミニポスター(一部動画付) >>
- 身・守りハンドブック >>
- 教育DVDハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>**
- ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
- What's New >>
- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>

製品安全情報マガジン (PSマガジン)

製品評価技術基盤機構(NITE)では、NITEに集約される製品安全に関する情報を製品事故の未然・製品安全情報マガジン(PSマガジン)によってタイムリーに提供しています。毎月第2・4火曜日に配信



新規登録

新規に配信を希望される方はこちらから登録を行ってください。

登録変更・解除

パスワード再発行

登録内容の確認・変更、メール配信の停止 パスワードを忘れた方は、こちらから再発を希望される方はこちらからお願いします。※ 行を行ってください。

※パスワードの入力が必要です。

バックナンバー

	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005
2012年	<ul style="list-style-type: none"> Vol.178 10月9日号 「なべによる事故」 Vol.177 9月25日号 「家庭内における子どもの事故」 Vol.176 9月11日号 「高齢者に関する事故」 Vol.175 8月28日号 「介護ベッドによる事故」 Vol.174 8月14日号 「ライターによる事故」 Vol.173 7月24日号 「照明器具による事故」 Vol.172 7月10日号 「草刈機による事故」 Vol.171 6月26日号 「エアコン及び扇風機による事故」 Vol.170 6月12日号 「乾燥機及び除湿機による事故」 						

事故情報

- ・NITEで収集した最近の事故情報の傾向
- ・NITEの調査事例を紹介 etc...

社告情報

- ・最近出された製品事故に係る社告情報 etc...

製品安全関連情報

- ・緊急に注意喚起が必要な事故に関する情報
- ・NITEホームページの製品安全関連分野の最新情報を案内
- ・NITEの主催するイベント等案内 etc...

製品安全センターのホームページ 9

・プレスリリース

<http://www.nite.go.jp/jiko/press/index.html>

製品安全・事故情報

◆◆◆◆◆◆◆◆

[注意喚起リーフレット](#) >>

[注意喚起ちらし](#) >>

[注意喚起リンク集](#) >>

[ミニポスター\(一部動画付\)](#) >>

[身・守りハンドブック](#) >>

[教育DVDハンドブック](#) >>

[生活安全ジャーナル](#) >>

[製品安全情報マガジン\(PSマガジン\)](#) >>

◆◆◆◆◆◆◆◆

[What's New](#) >>

[プレスリリース](#) >>

[特記ニュース](#) >>

[最新事故情報](#) >>

[事故情報の検索](#) >>

プレスリリース

<平成24年度>

- ・平成24年9月20日 「家庭内における子どもの事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成24年8月23日 「介護現場における介護ベッド等による事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成24年7月19日 「照明器具による事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
「電池による事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成24年6月21日 「エアコン及び扇風機による事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成24年5月24日 「乾燥機及び除湿機による事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成24年4月19日 「電子レンジ及び電子レンジとの組み合わせで使用される製品の事故の防止」についてプレスリリースを行いました。

<平成23年度>

- ・平成24年3月22日 「はしごや脚立等による事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成24年2月23日 「電気こたつ、ゆたんぼ等の冬場の事故防止」についてプレスリリースを行いました。
「除雪機の事故の防止(再注意喚起)」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成24年1月26日 「ガスこまろ等の事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
「暖房器具による事故の防止(再注意喚起)」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成23年12月8日 「自転車等の事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成23年11月10日 「除雪機の事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成23年10月20日 「暖房器具による事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成23年9月22日 「子どもによるライター等の事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成23年8月25日 「IHこまろによる事故の防止」についてプレスリリースを行いました。
- ・平成23年7月21日 「カセットこまろによる事故の防止」についてプレスリリースを行いました。

製品安全センターのホームページ 10

最新事故情報

<http://www.nite.go.jp/jiko/sokuho/index20.html>

製品安全・事故情報

◆◆◆◆◆

[注意喚起リーフレット >>](#)

[注意喚起ちらし >>](#)

[注意喚起リンク集 >>](#)

[ミニポスター\(一部動画付\) >>](#)

[身・守りハンドブック >>](#)

[教育DVDハンドブック >>](#)

[生活安全ジャーナル >>](#)

[製品安全情報マガジン\(PSマガジン\) >>](#)

◆◆◆◆◆

[What's New >>](#)

[プレスリリース >>](#)

[特記ニュース >>](#)

[最新事故情報 >>](#)

[事故情報の検索 >>](#)

<平成24年8月29日～10月9日>

No.	受付期間	掲載件数	ページ数
H24-26	H24/10/03～H24/10/09 の受付情報 (PDF: 132KB) NEW	47件	4ページ
H24-25	H24/09/26～H24/10/02 の受付情報 (PDF: 119KB)	37件	3ページ
H24-24	H24/09/19～H24/09/25 の受付情報	25件	2ページ



最近の製品事故情報(NITE速報)

NITEが収集した最新の製品事故情報(平成24年●月●日から●月●日までの受け付け分)をお知らせします。
 ここでの情報は、速報情報ですので今後の追加情報、事故調査の進展等により、内容に変更があり得ます。
 また、製品事故でないことが判明した場合は、情報を削除することがあります。

事故受付日	品名	事故発生日	事故通知内容	被害状況		事故発生場所	備考
				物的被害	人的被害		
2012/●/●	電気こんろ 【電気こんろ】	2009/●/●	電気こんろの電源コード部分から発煙した。原因を調査中。	製品破損		東京都	AAAA社 A-〇〇 11/00/00に社告。
2012/●/●	空気清浄機 【空気清浄機】	2010/●/●	空気清浄機からプラスチックの焦げたにおいがした。原因を調査中。	製品破損		大阪府	
2012/●/●	石油ふろがま	2012/●/●	使用中にぼつと火が吹き上がり手に火傷をした。原因を調査中。		軽傷	香川県	BBBB社 B-x x 11/00/00に社告。



御清聴いただきましてありがとうございました。

安心を未来につなぐナイトです。

nite National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

製品安全センター 製品安全調査課
TEL:06-6942-1113 FAX:06-6946-7280
E-mail: jiko@nite.go.jp

<http://www.jiko.nite.go.jp/>